

第3回男鹿ゆるやかトーク

1. 前回のゆるやかトークの振り返り
2. 昨年作成したモデルコースの紹介
 - ・「孫を連れて半日出かけても疲れない」などコースごとに違ったコンセプトのもと、観光コースを作成
 - その際参加していた2名を中心に話を聞く
3. 意見交換
 - ・男鹿は魅力的なところがたくさんあるが、うまくいかしきれておらず、観光に結びついていないという点について共通認識があったようで、序盤から男鹿の観光の改善点を中心に意見が出されていた。

【釣り】

- ・フィッシング・ツーリズムと銘打って釣り目的の観光客をターゲットにしてはどうか。
- 釣った魚をCAS冷凍してご自宅へお届け、など
- ・男鹿は海釣りなどの環境があるが、あえて釣り堀を作ってビギナーから玄人まで幅広い集客を狙う
- ・釣り客らから一律で料金を取り、そのお金を環境整備に利用するのはどうか。
- 山陰海岸を参考にできる？
- ・獲ってきたサザエを浅瀬で放して掴み取り体験？
- 養殖サザエでできればよさそう
- サザエの良く獲れる場所を観光客に知られてしまうのは荒らされる原因になる

【男鹿の観光全体に対する意見】

- ・人集めについて小さな拠点を作り、それを2～3年で辞めずに続けていく。
- 長く続けることが大事。小さい拠点も大切だが、大きな仕組みづくりを続けていくことが大事（やめるにやめられない状況になれば継続する）
- ・外からの意見に耳を傾け、意識から変革を
- よその成功例をうまく取り入れ、魅せ方を変えていく
- ・これまであった「男鹿」と新しい「男鹿」のコラボレーション
- ・ひとつひとつの事業に対し効果検証を十二分に行い、反省を生かして次に進む体制づくり
- ・リピーターを楽しませるようなものを

【その他】

- ・目潟の有効活用
- 湖回りのみならずトレッキングコースの整備（草刈り）
- 水源保護と観光向け開放のせめぎ合い（ガイド付きであれば許可OK?）
- ・ありのままの自然が美しいのではなく、ある程度人の手による管理が必要

- 八望台をはじめとした昔と変わってきている景色
- 自然公園法との兼ね合い
- ・山の幸・海の幸の盗掘や密漁などの被害からの保護
 - 熊やヤマビル被害の少ない男鹿へ集中
- ・J R 駅やバス停周辺の観光スポットの周知
 - モデルコースを作るなど
 - オガーレの情報発信コーナーを有効活用
- ・十和田湖の乙女像・田沢湖のたつこ姫などに並ぶよう、椿姫の像を能登山付近につくる
- ・西海岸の各駐車場の有効利用
- ・男鹿線の景観は飽きない。活かすべき。
- ・P R 方法が下手。今がチャンス。
- ・15,000トン岸壁に名前があればいい
- ・桜の名所があればいい
- ・南磯あたりでワカメやサザエを絡めたウォーキング
- ・最近目的を持ってくる人が増えている。
 - 体験型観光の整備
- ・観光に関わりがない人も男鹿がにぎわうといいと考えるよう啓蒙が必要